

<霊的備え>

主によって 人の歩みは確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。  
その人は転んでも 倒れ伏すことはない。主が その人の腕を支えておられるからだ。  
(詩篇 37:23-24)

<理解の手引き>

アブラム (アブラハム) の戦いは、侵略のためではなく、自分の親類を取り戻すためのものでした。アブラム (アブラハム) は、自分の家で生まれた信頼できる者たち 318 人を引き連れて、敵を追跡しました。この人数は決して大軍勢ではありませんでした。しかし、主は主に従う少数者と共にいてくださり、勝利を与えて下さるのです。

アブラム (アブラハム) が戦いから帰ってきた時に、2人の王が迎えに出ました。その内の一人サレムの王メルキゼデクは、パンとぶどう酒を持ってきて、彼らの肉体的必要を満たし、神の祝福を祈ったのでした。これに対して、アブラム (アブラハム) は彼にすべての物の 10 分の 1 を与えたのでした。しかし、もう一人の王ソドムの王に対しては、アブラム (アブラハム) は彼の申し出を断り、一線を画したのでした。それは、ソドムの王の中に、神への信仰も感謝も見られなかったからです。やがて彼はソドムの町と共に、主によって滅ぼされてしまう事になります。

<考えてみよう>

(観察) アブラム (アブラハム) は、彼を迎えに来た 2人の王に対して、どのような態度をとりましたか？

(解釈) 何故、アブラム (アブラハム) は、ソドムの王から一切の報酬を受け取らなかったのでしょうか？

(適用) このアブラム (アブラハム) の態度から、どのようなことを学ぶ事ができますか？

<心に残ったみことばや気づき>

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)